

令和8年度事業計画

《事業活動方針》

昨年度は、物価高騰や猛暑などの外的要因によって本市の観光業全体も厳しい状況が続いた1年ではありましたが、特に『スポーツランドみやぎ』が全国に発信されるJリーグ、プロ野球の春季キャンプには、県内外から多くのファンの皆様が本市を訪れプロ野球3球団合計で約49万人に会場いただきました。さらにWBC連覇を目指す侍ジャパンの合宿には9日間で20万人の来場があり、合宿後半にはメジャーリーグ所属選手の一部も合流するなど、連日各メディアでも大きく報道され経済効果の大きさを再認識させられた1か月となりました。

本年度も、ここ数年で大きく変化している人々のライフスタイルを見極めながら、観光客のニーズが多様化していることを念頭に「第5次宮崎市観光振興計画」に掲げられた（観光ブランディングの確立・周遊、滞在型観光の促進・スポーツツーリズムの強化・観光DXの推進・インバウンド誘致の加速）に資する事業を強化し、本市のブランド力を高める施策、持続可能な形で「外貨（域外資本）を稼ぐ力」を高める取り組みを強力に推進してまいります。

中でも、国内に急増するインバウンド誘客を推進するため、直行便が就航している東アジアのみならず、それぞれの地域のニーズにあった施策の構築を図ってまいります。

また、本市観光の課題となっている繁閑の格差の是正に向けては、昨年度実施した青島の夕方から夜の滞在力を高める取り組み（ライトアップ事業）内容を充実させ継続することに加え、9月には大型野外ライブの開催が決定しているほか、12月には、大淀川河畔及びその周辺にて新たなイベントを開催し賑いを創出します。今後も関係機関と連携を図りながら魅力的な観光コンテンツの開発にむけた事業に取り組んでまいります。

本市にとって欠かすことのできないスポーツツーリズムの推進ですが、Jリーグ新シーズン移行に対応した誘致・受入の取り組みや、令和9年に迫った国スポ・障スポのプレ大会が今年度開催されることから、本番に向けて、全国から来県されるアスリートの皆様をおもてなしの心を持って受入していけるよう、様々な方面から体制の充実に取り組んでまいります。

本年度も、会員の皆様のご協力をいただきながら、県・市をはじめ各観光協会や関係機関と連携を図り、当協会独自の柔軟な発想から生み出す力を本市の観光創造に生かし、観光誘客のために様々な事業に取り組めます。

各事業は、公益法人認定基準に準じ、事業グループ毎に分類。

公益目的事業

公１．誘致活動事業

１．観光客誘致拡大事業

年間を通じて本市への観光誘客を推進し、観光入込客数および宿泊者数増加に繋げるため、今後の観光動向を見据えた観光コンテンツづくりと観光資源を最大限に生かし、満足度の高い魅力的な旅行商品の研究開発・造成支援、情報発信、旅行会社へのセールスが必要である。

航空会社や旅行会社とタイアップした誘客企画、効果的なセールスを実施するとともに、ターゲットや時期を絞った継続的な旅行商品の造成、魅力的な旅行商品の造成支援を行う。

（１）国内観光誘客推進事業

旅行会社タイアップ事業

旅行会社や航空会社等への効果的なセールス活動を実施するとともに、各旅行会社と連携を図り、本市への誘客に努める。また、誘客の促進を図るためターゲットや時期を絞った旅行商品造成支援を行い観光入込客数や宿泊者数の増加に努める。

２．教育旅行支援事業

宮崎県教育旅行誘致推進協議会の会員と共に県内関係機関が一体となった「オールみやざき」で県内外の誘致受入事業を展開し教育旅行の誘致に努める。旅行会社に対して誘客プロモーションを展開し、宿泊・体験プログラムを通じ宿泊者数の増加を図る。

（１）教育旅行推進事業

教育旅行に対し、市内に宿泊する場合の宿泊補助と市内に宿泊した場合のみみやざき元気体験プログラムの体験補助を行う。教育旅行を通し体験型観光の推進と体験プログラムの充実を図り観光業の活性化に繋げる。

宿泊補助は、１人あたり一律１，０００円、体験補助は、１人あたり上限２，０００円

３．観光情報発信事業

本市の「豊かな食」、「恵まれた自然」を活かし、観光やグルメ、温泉、体験、イベント等の多彩な情報を旅行雑誌や新聞、ビジョン広告をはじめとする各種媒体・各種メディアを通じて広く発信する。あわせて、イベントと連動した新たな切り口による効果的な観光プロモーションを展開し、幅広い年齢層へのＰＲを通して、宮崎への旅の動機づけを喚起させ誘客に努める。

観光客のニーズに対応した効果的かつ効率的な手法として、WEBやSNS等のデジタルメディアを活用した情報発信を強化するとともに、戦略的な観光誘客を推進し、観光客のニーズを的確に捉えた効果的な事業展開を図る。さらに、継続的なインバウンド対策としてセールスプロモーションの強化や広域連携によるスケールメリットを生かしたプロモーションをはじめ受入環境の整備等を充実させることで、本市の認知拡大と誘客効果の向上及び観光消費額の増加に繋げる。

（１）観光プロモーション推進事業

①メディア連携情報発信事業

誘客に繋がる効果的なプロモーションについて、コンテンツごとに対象を明確化し、本市のイメージ向上や認知度向上、さらには再訪者数の増加を図る。本市観光の特性を活かし主要メディア等との連携やタイアップ企画を実施するとともに、WEB媒体・SNS等のデジタルメディアを活用しデータに基づく戦略的かつ効果的な情報発信を行う。

また、関東、中部・関西、九州各エリアにおいて、地域特性を踏まえた上でターゲットを絞った効果的なプロモーションおよび情報発信を展開することで、本市の誘客促進を図る。

②イベント関連プロモーション事業

本市の魅力ある観光資源や各種イベント情報など、話題性の高い旬の素材を国内外へ幅広く発信するため、各地域を結ぶ交通機関や大型イベントと連携し、本市への誘客促進に努める。

また、県や県内市町村等と連携し、対象を明確にした戦略的なプロモーションを展開するとともに、WEBやSNS等各種媒体を活用した情報発信を行う。

(2) GBPを活用した情報発信事業

デジタル化の進展に伴い、データに基づくマーケティングは重要な役割を担っている。旅マエ・旅ナカにGoogleをツールとして情報を取得する旅行者がインバウンドを含め多いことを踏まえ、観光関連業者のGoogle Business Profileを整備する。あわせて、域内の宿泊や回遊を横断的に把握できるデータ基盤を構築し、旅行者の行動や嗜好に関するデータの収集・蓄積を図る。さらに、蓄積した顧客データの分析結果を活用し、周遊促進や長期滞在の拡大、客単価の向上を図ることで、観光消費額の増加につなげる。

参画店舗目標数：80店舗

(3) 観光魅力情報発信事業

①ホームページ・SNS情報発信事業

協会ホームページやSNS（Facebook、Instagram、X（旧Twitter））を活用し、観光客のニーズを的確に捉えた効果的かつ有効的な情報発信に努める。WEBを活用したインバウンド向けの情報発信、ホームページ内の特集記事等の充実、プレゼントキャンペーンを活用したSNSでの情報発信等を実施する。さらに、エンゲージメント時間の向上につながる深堀記事の作成に取り組み、本市の魅力を国内外に効果的・効率的に発信するとともに、インフルエンサーともタイアップし注目を集め、観光入込客数の増加に努める。

(4) みやざき海旅キャンペーン＜新規＞

関西圏からカーフェリーを活用し本市へ宿泊する観光客を対象に宿泊費を補助し、本市への誘客を促進するとともに滞在期間の延長に努める。

宿泊費を補助することで、カーフェリーを活用した本市への移動手段の認知度向上や宿泊者数、本市へのリピーター増加につなげ、本市内での飲食・物販・体験等の消費を促し、地域経済の活性化を図る。

集客目標：5,000名

(5) みやざき空旅キャンペーン＜新規＞

航空会社（ANA、JAL、ソラシドエア）と連携し、羽田空港または福岡空港を出発地とし、発着のいずれかで宮崎空港を利用するキャンペーン適用対象のダイナミックパッケージ商品（「航空券＋宿泊」）を予約し、宮崎市内の宿泊施設に宿泊する旅行者を対象に「宮崎市割引クーポン（5,000円分）」を配布し、本市の宿泊者数の増加をねらう。本キャンペーンを通じ本市へのアクセスの良さを再認識させることで宮崎を「遠い場所」から「身近な選択肢」へと昇華させ、本市の認知拡大や満足度向上につなげるとともに、本市内での飲食・物販・体験等の消費を促し、地域経済の活性化を図る。

集客目標：15,000名

(6) 宮崎で遊ぶクーポン事業

本事業は、令和5年度より完全デジタル化へと移行。現在は22施設・約60種類のアクティビティを一つにまとめた観光コンテンツとなっている。本クーポンの利用者数増加を目指し、観光客の周遊性・滞在性を向上させ、宿泊客数増加に向けた取り組みを行う。また、令和8年度は“回遊のさらなる促進”を目指し、より幅広い店舗・施設で利用できる仕組みづくりを進める。将来的には、データ活用を強化することで、利用者の行動分析を踏まえた商品造成、季節別の需要創出、参画施設へのフィードバックなど、データに基づいた事業運営を推進し、家族層を中心とした市内回遊の活性化と地域経済への波及効果を高めていく。

(7) 観光ブランド推進事業＜新規＞

宮崎市からの委託で行う本市の新たな観光ブランドを国内外へ効果的に発信するため、ブランドロゴやイメージの制作、宮崎市からの委託でプロモーション戦略立案等を一体的に行う。観光ブランドのイメージを確立することで、旅行者に選ばれる観光地として価値の向上を目指す。

あわせて、市民の愛着や誇りの醸成、国内外への発信による地域経済への波及効果の双方を目指す。

・主な内容

- ①ブランドコンセプトの整理 ②ブランドメッセージ・ロゴ等の制作
③展開用クリエイティブ制作 ④プロモーション戦略の整理

(8) インバウンド関連事業

①インバウンド誘客強化事業

本市の課題である「海外での認知度・発信力不足」「外国人旅行者の受入環境整備不足」の解決に向けて、県と連携し効果的な情報発信やセールス等を実施するとともに、ターゲット市場からの送客数、観光消費額の増加を図る。重点市場の台湾・香港、新規アプローチ市場の欧米豪・シンガポール市場をターゲットとしたセールス活動を実施するとともに、当協会独自のパイプを生かした中国・韓国のアジア市場に対しても継続したアプローチを行う。韓国については、韓国プロ野球チームの誘致に加え、各チームのファンの誘致にも尽力する。

②インバウンド誘客強化事業（欧米豪等新規市場プロモーション）

欧米豪等をターゲットエリアとし、宮崎が誇る「食」や「自然」などの一般観光コンテンツの効果的なプロモーションを推進することで、旅行先としての認知度向上を図り、観光客誘致に努める。また、旅行先としての認知度向上を図るため、個人旅行や団体旅行の双方を視野に入れつつ、現地エージェントや業界関係者、メディア等との関係構築を図り、市場の動向や最新のトレンド、求められるコンテンツやサービスに関する情報収集を行い、戦略的な誘客施策を展開する。

4. 観光資源活性化事業

県内の観光地と連携を図りながら、本市の魅力ある観光資源を活用した事業や新たな観光素材の開発、幅広い観光客層をターゲットにした誘客事業を展開する。

滞在型観光を推進し、宮崎ならではの「自然」「伝統」「文化」「食」等を取り入れた特色・魅力ある体験プログラムを提案、受入することで、観光客の誘致に努め、観光による地域振興に寄与する。

(1) 体験プログラム受入事業

滞在型観光を推進するとともに、宮崎の魅力を再発見してもらうことを目的に、旅ナカでの過ごし方の一つとして、マリンスポーツなど宮崎ならではの豊かな自然、宮崎の伝統、文化を取り入れた魅力あるプログラムを提供し、修学旅行生や一般観光客の受入れを行う。また、本市への観光客のニーズを捉えた商品造成を体験事業者と行う。

5. 広報宣伝活動事業

宮崎への誘客を図るため、本市の「自然」や「イベント」「食」「文化」などを幅広くPRし「観光宮崎」の魅力発信に努める。さらには、宮崎の魅力ある景観を素材にした観光名刺の販売、各種イベントを記載した機関紙等の配布など、様々なツールを活用し宮崎の観光情報を全国に発信し誘客活動を行う。

(1) 観光名刺印刷・販売

魅力ある宮崎の観光地を全国に発信するため、宮崎市内の主な観光地（5種類）がセットになった名刺台紙と宮崎が誇る景勝地・青島の名刺台紙2種類の販売を行う。

令和8年度より名刺台紙の料金を改定、1箱100枚入り500円で販売

(2) 機関紙「Mコミュニケーション」の発行

会員との連携を図るツールとして機関紙を発行。

6. 国内外観光交流事業

当協会は、平成16年（2004年）に中国山東省青島市文化和旅游局、昭和62年（1987年）に（一社）旭川観光コンベンション協会、平成29年（2017年）に（一社）檜原市観光協会と友好盟約を締結していることから交流事業を実施し、本市の観光情報の発信はもとより、国内外からの観光誘客に努めるとともに地域経済の発展に寄与していく。

(1) 海外他友好都市交流事業

（２）観光団交流事業

（一社）旭川観光コンベンション協会とは、各年で訪問交流を行っている。令和８年度は、旭川市が本市へ来宮予定。

公２．観光客受入体制関連事業

１．観光客受入事業

国内観光客やインバウンド観光客に対し、観光案内等の各種サービスを提供し、周辺の観光地や施設との連携を図りながら利便性や周遊性の向上に努める。また、観光客のニーズを捉え受入体制の充実を図るため、観光関係者向けに資質向上やスキルアップのための研修会を開催する他、来宮した観光客や急激に増加傾向にあるインバウンド観光客に対して、時代に即した各種サービスの充実に努める。また、令和８年３月末から継続的に国内外のクルーズ船が宮崎港に入港する予定もあることから、インバウンド客を含めたクルーズ船の受入れ体制の整備を図り観光消費額向上を目指す。昨年、一昨年に引き続き、継続的な青島ナイトコンテンツをさらに磨き上げ、新たな魅力的な商品を造成することで、夕方から夜における滞在型観光の促進、宿泊者数の増加を図る。

（１）渚の交番整備・運営事業

青島海水浴場管理棟を平成２１年（２００９年）に改修し、平成２２年（２０１０年）６月から「渚の交番」として開設し１５年、隣接している青島ビーチパークは平成２７年（２０１５年）に開設し１１年が経過した。これまで青島ビーチヴィレッジや周辺観光施設と連携を図りながら、青島エリアの滞在型観光の推進に取り組んでいる。今後は、マリンスポーツや各種アクティビティの拠点として、受入環境のさらなる充実を図るとともに、地域と協創しながら賑わい創出に努める。

また、青島エリアにおける地域観光のハブとして、持続可能で「稼げる渚の交番」の実現に向けて、積極的に取り組む。

（２）宮崎WORK&STAY推進事業

国内外からのMICE誘致が加速する中で、宮崎オリジナルのアフターコンベンションユニークベニューとして令和５年（２０２３年）１２月から展開している“ニシタチ人情横丁貸し切りプラン”の宣伝販売の促進を引き続き行うとともに、宮崎県観光協会と連携しコンベンション誘致に取り組む。令和８年度は、本プランの金土プランの増設と更なる周遊促進の強化を図る。

（３）観光インフォメーション管理運営事業

①宮崎市観光案内所

時代とともに変化している観光サービスに柔軟に対応しさらなる機能充実を図るため、観光客のニーズを的確に捉えた各種サービスの拡充に努める。地域イベントのチケット販売、モバイルバッテリーのレンタル、レンタサイクルなど、観光地の情報発信のみならず、広域情報拠点として周遊性の向上の促進に努める。

また、職員のスキル向上のため各種研修会に参加し、きめ細やかな対応で顧客満足度の向上と各種サービスの拡充に努める。

②ニシタチミュージアム運営協力事業＜新規＞

ニシタチミュージアム事業は、ニシタチまちづくり協同組合が中心となり運営を行い、“安心安全な夜街づくり”と“観光回遊の促進”を目的とした事業であることから、宮崎北警察署・宮崎市観光協会が連携協力し、ニシタチの観光エリアとしてのブランド力を高める一助とする。

- ・警察詰め所（巡回拠点・監視カメラによるモニタリング）
- ・観光情報発信エリア（スポーツ関連展示・宮崎市内を中心とした観光案内を一体化）

（４）青島誘客促進事業

宮崎市を代表する観光地「青島」において、夕方から夜にかけての滞在力向上を図るため、また、閑散期対策の一助として、夜間景観の整備を中心とした取組を進めている。令和６・７年度には観光庁事業を活用し、ライトアップを実施することで、夜間の青島における象徴的な景観形成に努めてきた。これにより、国内外の来訪者に対し、青島の夜の魅力を継続的に発信する機会となった。

今後は、ライトアップの内容の見直しや夜間景観の磨き上げを通じて、夕方～夜の滞在価値を恒常的に高める環境づくりを進め、関係団体と連携しながら、夜間滞在の定着化や宿泊者数の増加につなげていくことを目指す。

期 間：令和8年4月24日～5月31日 19：00～21：00

(5) 青島エリア魅力創出事業<新規>

令和6・7年度に実施したナイトエコノミー事業の成果を踏まえ、青島における夕方から夜にかけての滞在力向上と回遊性の強化を図るため、期間限定のイベントを組み合わせた新たな魅力創出に取り組む。

ライトアップの内容充実に加え、花火打ち上げやドローンショーの実施など、来訪者が夜間に青島を訪れる動機となる体験を提供し、閑散期における誘客促進や滞在時間の延伸を図る。

これらの取組を通じて、夜間の回遊性向上や地域経済への波及効果の創出を目指す。

期 間：令和8年9月18日～11月29日の金土日祝 18：00～21：00（予定）

(6) ニシタチ夜間景観創出事業<新規>

本市が誇る観光資源でもある「ニシタチ」において、夜間のにぎわい創出と地域ブランドと価値の向上を図るため、提灯を設置し点灯することで、視認性の向上・回遊性の促進・エリアの魅力発信を行うとともに提灯による統一的な景観演出を通じて観光客にとっての「写真映え、安心感」を推進する。

期 間：令和8年7月～令和9年3月

(7) 観光従事者研修会

(8) レンタサイクル事業

(9) コインロッカー運営事業

(10) 海外クルーズ船受入体制整備事業

(11) 神話・観光ガイド支援事業

おもてなしボランティア事業 青島観光インフォメーション事業

2. 観光イベント推進事業

観光客をターゲットに、南国ムードを生かした、魅力ある宮崎の観光資源を活用したイベントの開催や新たな誘客素材の掘り起こしと開発を行う。プロモーション事業とも連携を図り、具体的な誘客に繋がる仕組みを構築し事業の展開を図る。また、新たな観光資源の開発や各種観光行事等の主催団体に対して、補助金等の助成を行い地域活性化に努める。

宮崎への旅の動機付けを喚起させ観光誘客を図るため、宮崎の魅力ある食のプロモーションを継続的に行い、観光誘客の起爆剤となるような食のPR活動を手助けしていく。

令和8年度は大型野外イベント日向坂46の「ひなたフェス26」を開催。来場者の市内の歓迎機運の醸成、中心市街地への回遊性、観光消費を促進する取組等の受入体制の強化を図る。

(1) 大型イベント開催支援事業<新規>

宮崎で開催される大型野外イベント（ひなたフェス2026）において、中心市街地への回遊性を高めるため、バナーやフラッグを設置し、にぎわい創出を図る。また、本イベント開催時には会場内にPRブースを設置し、来場者向けのサービスの充実を図るとともに、宮崎グルメや本市の魅力ある観光情報を発信し、認知度向上と滞在時間の延長につなげる。

(2) みやざきグルメとランタンナイト開催支援事業

口蹄疫の翌年平成23年（2011年）から始まった本イベントは、宮崎の夏の風物詩として定着している。県内外の観光客のみならず県民市民からも愛されるイベントとして開催する。

本イベントは13回目の開催となり、更なる夏の滞在力を高める誘客素材として活用するとともに、期間中は中心市街地や周辺施設と連携した誘客促進にも努め、県内外からの誘客を図る。

期 間：令和8年7月31日～8月16日

場 所：フローランテ宮崎

(3) フラおもてなし推進事業

宮崎ブーゲンビリア空港や各種MICE会場にて観光客やMICE参加者等に対してフラを

披露し、「フラのメッカ宮崎」としての認知度を向上させる。

(4) 新規事業開発事業

本市の観光推進に繋がる新たな観光素材の掘り起こしや、観光客の多様化するニーズに柔軟に対応した事業や情報発信、事業開発を行う。

(5) みやざき納涼花火大会魅力向上事業<新規>

本市の夏の風物詩となっているみやざき納涼花火大会で花火を増発し、本市で実績の少ない「ドローンショー」を融合させることで花火大会の満足度を一層高め、県内外からの来場を促進するとともに、SNS等による情報拡散を通じて本市の魅力発信および魅力向上を図る。

期 日：令和8年8月1日

内 容：大淀川河畔で開催される花火大会にて花火の増発及びドローンショーを実施

(6) 大淀川河川空間イベント開催事業<新規>

観光閑散期となっている12月の新たな誘客施策として本市で開催実績の少ない「ドローンショー」を核としたイベントを実施し、県内外からの来訪促進を図る。夜間イベントの開催によって、宿泊・飲食・周遊など地域経済への波及効果を高めるとともに、SNS等による情報拡散を通じて宮崎市の新たな魅力発信につなげる。

期 間：令和8年12月4日～5日（予定）

場 所：大淀川河畔 橋公園周辺

内 容：ドローンショーと花火を軸に、飲食やステージイベントなどを実施

(7) みやざき青島国際ビールまつり

(8) 行事負担金

(9) みやざきふるさと食材アピール事業

3. スポーツ観光受入事業

プロ野球やJリーグなどの宮崎キャンプ期間中の円滑なキャンプ受入環境を整備し、宮崎キャンプの継続実施を図る。

キャンプ観戦の観光客の周遊性や利便性の向上に努め、渋滞緩和等のため交通体制の整備や観光客の満足度を高める取り組みを行う。また、市内各所で、歓迎ムードを高め、賑わい創出に努める。

プロスポーツの受け入れ態勢を充実させ、キャンプ地宮崎を全国に発信し、さらなる「スポーツランドみやざき」の推進と、本市のイメージアップを図る。

(1) キャンプ受入事業

読売巨人軍宮崎キャンプ受入事業

福岡ソフトバンクホークス宮崎キャンプ受入事業

オリックス・バファローズ宮崎キャンプ受入事業

本市では、温暖な気候と充実したスポーツ施設を生かし、プロ野球3球団の春季キャンプ等の受入を行っている。1つの市で3球団がキャンプを行うのは全国的にも本市だけである。

宮崎キャンプの話題性と3球団のキャンプ地の周遊性の向上を図り、十分な警備体制をはじめ臨時駐車場の確保や誘導看板の設置等、キャンプ観戦の円滑な環境づくりに努めながら来場者の利便性向上と誘客効果を高める。

(2) スポーツ等合宿・大会誘致受入事業

スポーツ等合宿受入支援事業

本市のスポーツに適した気候や充実した施設環境を全国に発信し、本市で合宿を行うプロ・アマスポーツ団体に継続的に合宿を実施してもらうため、宮崎の特産品贈呈や宿泊補助、貸切バスの経費補助を行う。さらにはスポーツ等合宿誘致セールスをはじめ新たな団体の誘致を強化し、宿泊者数の増加に繋げるとともに地域経済の活性化とスポーツランドみやざきの更なる推進に努める。

(3) みやざきゴルフパラダイス事業

11月に開催される「ダンロップフェニックストーナメント」「JLPGAツアーチャンピオンシップリコーカップ」の2大トーナメント、3月に開催される「アクサレディスゴルフトーナメント」など各トーナメントと連携しながら「宮崎＝ゴルフ」のイメージアップを図る。

本市のゴルフ環境の良さを、SNS等を活用して国内外に発信するとともに、新たなゴルフ

客向けに宮崎ブランドを構築し、宮崎を訪れるゴルフ客の増加に繋がる施策を展開する。トーナメント会場や各ゴルフ場のPRやイベントの開催、ゴルフパックなどの旅行商品の造成、オフシーズンに本市で合宿を行うプロゴルファーへの合宿支援など、通年を通してゴルファーの誘客に努め、スポーツランドみやざきの推進と閑散期の誘客を図る。

(4) 観光スポーツイベント歓迎装飾事業

プロスポーツイベント開催期間中、観光客やイベント関係者に向け、市内の主要な道路付近等に歓迎看板やバナー、フラッグ等を設置し、イベント期間中の機運醸成及び歓迎ムードの盛り上げを図る。

4. スポーツ観光セールス事業

宮崎でキャンプを行うプロ野球やJリーグチームの本拠地においてキャンプ地みやざきのPRを行い宮崎への誘客を図る。また、旅行会社やスポーツ団体等に対して、宮崎が全国に誇る充実したスポーツ施設や全国有数の日照時間・温暖な気候などの恵まれた環境、支援・受入体制を発信し本市への誘致に努める。

(1) みやざきスペシャルゲーム開催事業

プロ野球各球団の本拠地で開催される公式戦において観光パンフレットのサンプリングや特産品の抽選プレゼント等を実施し「キャンプ地みやざき」のPRを行う。

①京セラドーム大阪

本市のスポンサーゲームと宮崎市内の企業団体がキャンプ地みやざきシリーズとして合同で2試合を開催予定。2日間でオリックス球団への表敬訪問や観光プロモーション、メディアとタイアップしたプロモーションを実施。

カ ー ド：オリックス・バファローズ VS 北海道日本ハムファイターズ

期 日：令和8年4月25日 ※14時試合開始

結 果：4 対 2

②みずほPayPayドーム福岡

5月30日の試合をホークス球団が中心となり、「みやざきスペシャルDAY」として開催。本市のスポンサーゲームは1試合。球団への表敬訪問や観光PRを実施。

カ ー ド：福岡ソフトバンクホークス VS 広島東洋カープ

期 日：令和8年5月30日 ※14時試合開始

結 果：4 対 2

③東京ドーム

7月18・19・20日の3試合を同球団がキャンプを行う都城市、那覇市とともにキャンプ地PRを実施予定。

本市のスポンサーゲームは1試合。球団への表敬訪問や観光PRを実施。

カ ー ド：読売ジャイアンツ VS 中日ドラゴンズ

期 日：令和8年7月18日 ※14時試合開始

(2) スポーツランド情報発信事業

京セラドーム大阪やみずほPayPayドーム福岡の野球観戦者に「キャンプ地みやざき」をPRするため、宮崎への誘客促進として、看板やビジョンへの観光情報の掲出・放映を行う。

また、11月に開催予定の読売ジャイアンツファン向けイベントでキャンプ地PRイベントを実施し「キャンプ地みやざき」を発信し、本市への誘客を図る。

(3) キャンプ地みやざきスペシャルマッチ事業（Jリーグ）

令和8年度は、横浜F・マリノス本拠地にて開催。

(4) スポーツセールス事業

5. 少年少女スポーツ大会支援事業

野球やゴルフのスポーツ大会を通じて少年少女たちのスポーツ交歓や交流を図ること、未来を担う子どもたちの健全な育成及びスポーツ振興に寄与することを目的に、ジュニアスポーツ大会の開催及び支援を行う。

(1) みやざきフェニックス・リーグ杯サマーベースボールトーナメント（少年少女野球大会）

今年度で22回目の開催となる本大会は、プロ野球受入を中心として構築されてきた“スポーツランドみやざき”だからこそできる大会を目指し、野球を通じて他県の少年少女との交流を深め、憧れのプロ野球選手が使用するグラウンドでのプレーが大きな目標となり、未来を担う子ども達の健全な育成に寄与することを目的とする。

期 間：令和8年7月25日～27日

場 所：生目の杜運動公園、清武総合運動公園、ひなた宮崎県総合運動公園

(2) ゴルフパラダイス観光推進事業

収益目的事業

収1. 宮崎ブランド商品魅力発信事業

宮崎の魅力を全国に発信することで、本市の観光プロモーションに繋げ、誘客だけでなく「稼ぐ力」をつける取り組みを推進する。本市の魅力を商品化に繋げる観光事業の展開や新たな観光資源の発掘を目的に様々な事業に取り組む。会員と連携した商品開発展開を強化し、会員一体となった事業推進を図る。また、本年度も本市最大の観光地である青島の滞在力を高めるための施策に取り組んで行くことから、イベント開催時に入島料を徴収し事業構築を図る。安定した事業継続のために販売促進を図る。

収2. プロ野球公式戦・オープン戦等開催事業

1. プロ野球オープン戦等開催業務

法人会計

1. 会議の開催

総務企画委員会、理事会、監事会、定時総会等

2. 九州主要都市・県内観光協会との連携

3. 観光功労者の表彰

4. 会員連携・交流（懇親会・新年会等）

5. 職員研修（観光視察研修他）

6. 各種会議への参加（主なもの）

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------|
| ・（公財）宮崎県観光協会 評議員会、理事会 | ・ 宮崎広域連携推進協議会 |
| ・ 青島太平洋マラソン大会実行委員会 | ・ 国内外代表合宿受入実行委員会 |
| ・ まつり宮崎実行委員会 | ・ まつりえれこっちゃみやざき振興会 |
| ・ みやざき納涼花火大会実行委員会 | ・ 「宮崎神宮大祭」祭・実行委員会 |
| ・ アクサレディスゴルフトーナメントin MIYAZAKI 実行委員会 | |
| ・ 宮崎県教育旅行誘致推進協議会 | ・ 宮崎県ラグビーリーグワン協力会 |
| ・ 宮崎市生目の杜運動公園運営協議会 | ・ 宮崎県におけるMaaS実行委員会 |
| ・ 宮崎観光土産品審査会 | ・ ワールドトライアスロンカップ宮崎実行委員会 |
| ・ 日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ宮崎市実行委員会 | |
| ・ 宮崎市文化芸術審議会 | ・ 日本遺産南国宮崎の古墳景観活用協議会 |

その他関連事業（協力会等）

1. 球春みやざきベースボールゲームズ実行委員会

既存キャンプ1軍球団のキャンプ継続及び期間の長期化、キャンプ期間の実戦形式の練習環境の充実を図るとともに、経済効果を高め、他県でキャンプを実施するチームへも宮崎での練習試合の開催を呼び掛け参加の依頼を行うため、自治体及び関係団体で「球春みやざきベースボールゲームズ実行委員会」を構成し開催する。

2. 読売巨人軍宮崎協力会

3. 福岡ソフトバンクホークス宮崎協力会

4. オリックス・バファローズ宮崎協力会

5. Jリーグ等宮崎協力会

6. みやざきフェニックス・リーグ支援実行委員会

7. 渚の交番青島プロジェクト実行委員会（当協会と宮崎ライフセービングクラブとのJV）

青島ビーチセンター指定管理業務（第4期）

指定管理期間：令和5年4月1日～令和10年3月31日（5年間）

（1）青島海水浴場管理運営業務

（2）青島ビーチ魅力アップ事業

青島ビーチパークの通年営業

「海を身近に感じる暮らし」「多様なビーチスタイルのハブとなるコミュニティ創出」を目指して、シーズンに応じた魅力的な商品提供や様々なイベント等を実施し、年間12万人の集客を目指す。

参 考：令和7年度 来場者数 117,735名（令和8年2月28日時点）

※令和7年度から市産業政策課の人流データ（マチレポ）を基準とする。

※令和7年度ビーチパーク内SHOP「uminoie」利用者数 78,427名

令和6年度 来場者数 163,770名

※宮崎市青島ビーチセンター 渚の交番による目測カウント